

2013年度(第57期)
第2四半期決算説明資料

(2013年4月1日～2013年9月30日)



三相電機株式会社

2013年11月29日

目次

1. 決算の概況

(1) 損益計算書、貸借対照表の概略	2
(2) 事業の取り組み内容について	3
(3) 売上高および営業利益の推移	4
(4) 収益関連指標	5
(5) 総資産・純資産	6
(6) 配当政策	7
(7) 利益配分の方針	7

2. 今後の取り組みについて

(1) 経営環境	8
(2) 諸施策	9
(3) 業績の見通し	10

1. 決算の概況

(1) 損益計算書、貸借対照表の概略(連結)

(単位:千円)

	2012年度 上期	2013年度 上期	前期比(%)
売上高	5,467,847	5,795,489	106.0
営業利益	△25,495	△32,969	—
経常利益	△6,947	11,695	—
四半期純利益	4,776	△23,789	—

(単位:千円)

	2012年 9月末	2013年 9月末	増減
資産	10,929,505	11,335,030	405,525
負債	5,319,732	5,363,278	43,546
純資産	5,609,772	5,971,752	361,980
負債純資産	10,929,505	11,335,030	405,525

2

(2) 事業の取り組み内容について

営業

- ・当社の強みでもある高効率モータや低消費電力ポンプの販売促進を行う。
- ・マイクロバブル発生装置などのユニット製品の拡販を行う。

製造、購買

- ・三相電機グループ会社の生産拠点再編効果を活かし、生産効率を高めていく。
- ・鉄鋼材や非鉄金属、原油価格が大きく変動する中で、グローバルな部材の調達や国内外の生産拠点のすみ分けで、トータルコストダウンを図る。

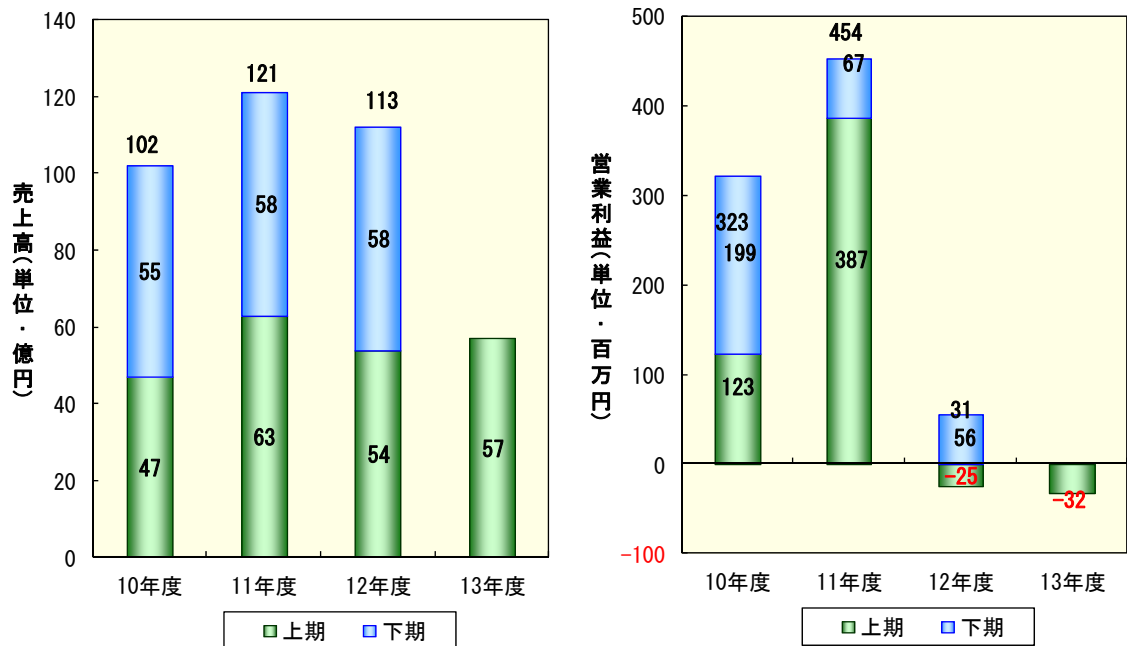
研究開発

- ・環境にやさしい省エネ、低騒音の製品を開発
(IE3(プレミアム効率)対応の高効率モータ 他)
- ・新規用途に対応した製品の開発(洗浄用DCポンプ 他)

3

(3) 売上高および営業利益の推移(連結)

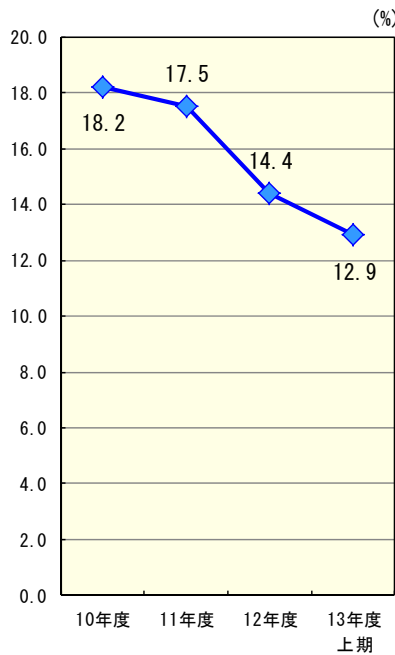
- ・売上高においては、お客様在庫調整などから低調な受注状況が続いたことにより、前年同期比ではわずかな伸び率となる。
- ・利益面においては、円安による海外調達部品のコスト増加などにより、営業損失となる。



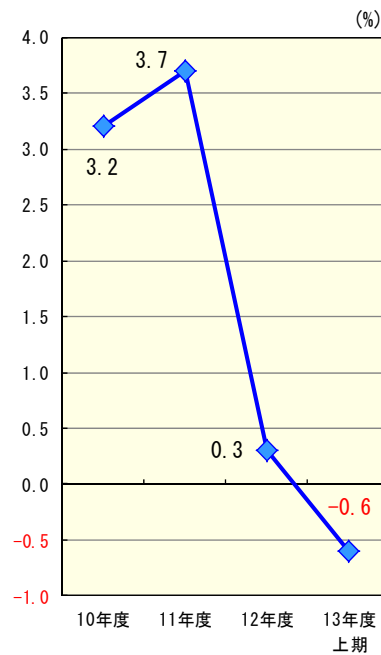
4

(4) 収益関連指標(連結)

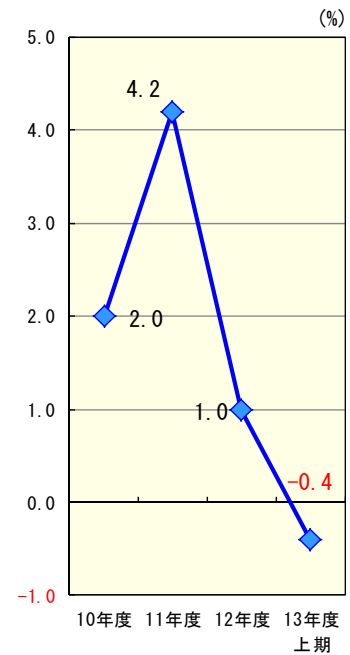
◆ 売上総利益(率)



◆ 営業利益(率)



◆ 当期(四半期)純利益(率)

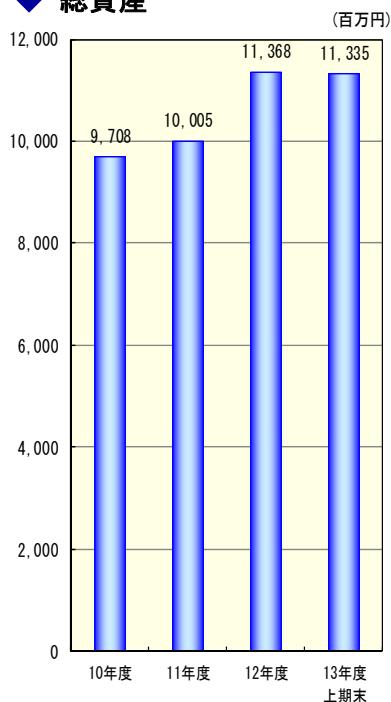


5

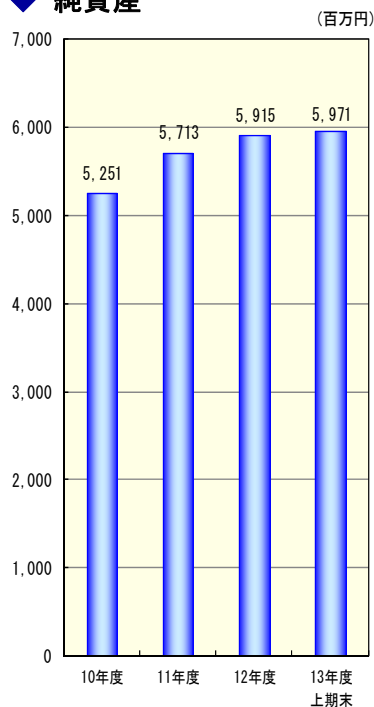
(5) 総資産・純資産(連結)

- ・資産については、主に受取手形および売掛金、商品および製品が減少
- ・負債については、主に長期借入金が減少
- ・純資産については、利益剰余金が減少した一方で、為替換算調整勘定が増加

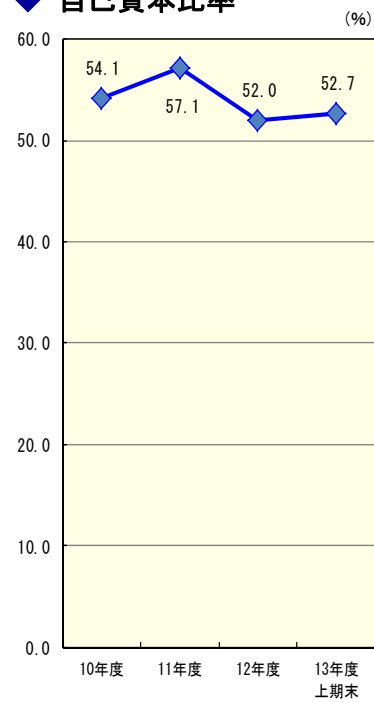
◆ 総資産



◆ 純資産



◆ 自己資本比率



6

(6) 配当政策

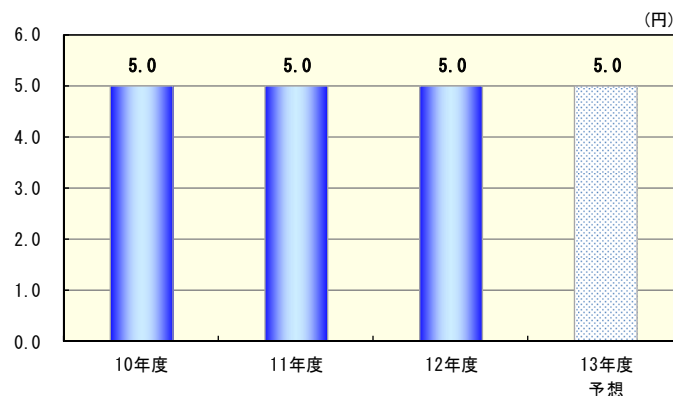
利益配分については、株主および一般投資家への企業責任の重大性を十分に認識し、業績の伸長を勘案し極力配当性向を高め、かつ維持しながら弾力的な利益還元を行うとともに収益力の向上を目指し、内部留保金についても有効投資に活用し、収益向上に取り組んでいます。

(7) 利益配分の方針

2013年3月期の配当については、1株につき期末配当金5円00銭とさせていただきます。

次期の配当については、前期と比べると減益が見込まれますが、安定的な配当を考慮して1株につき年5円00銭を予定しております。

◆ 配当金の推移



7

2. 今後の取り組みについて

(1) 経営環境

経済状況

- ・ 政府の経済政策や日銀の金融政策の効果を背景に、景気は回復の兆しが見られる一方で、消費者物価の高騰により下振れするリスクが残り、景気の先行きは依然として楽観視できない状況で推移するものと考えられる。

業界動向

- ・ 家電業界では、消費者マインドの向上により、当社グループが関係する空調機器の需要は徐々に上向く。
- ・ 工作機械装置業界では、低調であった企業の設備投資意欲が明るさを取り戻しつつあり、受注回復が期待される。
- ・ 住宅設備関連業界では、被災地での復興需要が考えられるが、その回復速度は遅く緩やかな状況で推移するものと考えられる。
- ・ 半導体製造設備業界では、一部で回復の兆しが見られ、今後の受注回復が期待される。

8

(2) 諸施策

営業

- ・ 当社グループの優位性がある、高効率で低消費電力のモータやポンプを中心に拡販を進めていく。
- ・ 新規用途の提案で新市場を開拓していく。

製造、購買

- ・ 新生産管理システムの運用により、短納期生産体制の確立を図り、顧客ニーズに応える。
- ・ 部材の共通化を進めるとともに、グローバルな部品調達によりコストダウンを図る。
- ・ 新宮工場の稼働により、生産性の向上並びに物流の合理化を進めていく。

研究開発

- ・ 低消費電力のDC(直流)モータおよびポンプのバリエーションを増やし、市場ニーズや新たな用途に応える。
- ・ 国際規格(IE2、IE3)に適合した高効率モータのシリーズ化を進め、既存市場での優位性を高める。

品質

- ・ 製造技術を極め、均一したクオリティの製品を提供する。
- ・ 受入検査の厳格化により組立部門への不適合部品の混入を防ぎ、品質効率を高めていく。

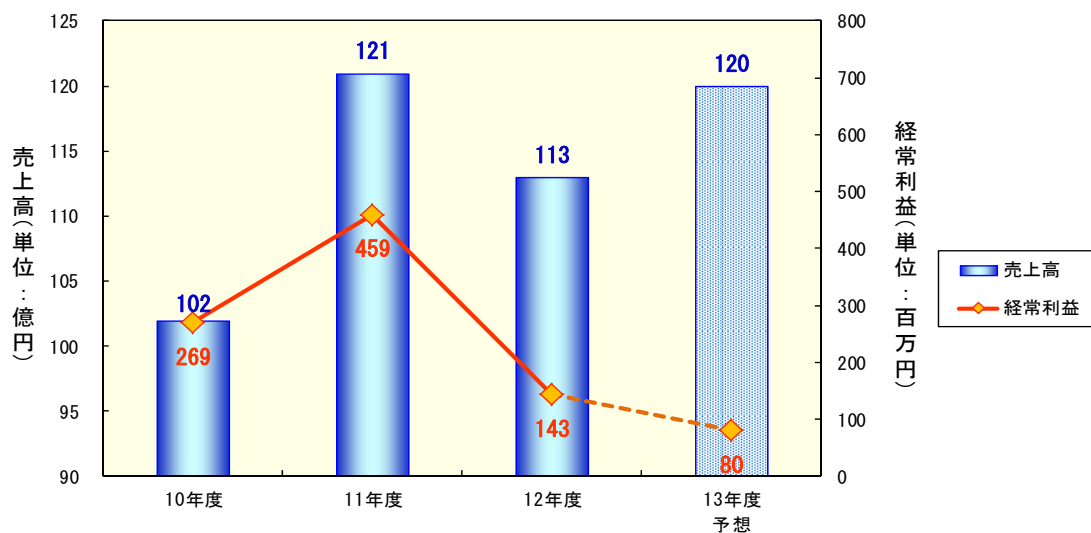
9

(3)業績の見通し(連結)

連結：売上高について景気回復の影響や来年4月の消費増税前の駆け込み需要により、下半期の受注は上向くことが見込まれる。

利益面について、前述した売上高の増加要因はあるものの、円安によるコスト増加要因により、前年比から減少が予想される。

◆ 売上高・経常利益



10

おことわり

この資料に掲載しております将来の計画や予想数値については、現在(2013年11月)入手可能な情報をもとに、当社が計画・予測したものであり、実績の業績などは、今後の様々な条件・要素によりここに掲載する内容と異なる場合がございます。

なお、この資料は、その実績を確約および保証するものではありませんのでご了承下さい。

お問い合わせ先

三相電機株式会社
統括管理部 経理課 経営企画係

〒671-2288

兵庫県姫路市青山北一丁目1番1号

TEL 079-266-1200

FAX 079-266-1206

E-mail sanso@sanso-elec.co.jp

11